

## 第8期第1回 豊栄地区公民館運営審議会 会議録

---

日 時： 令和3年7月7日（水） 午後2時～午後4時  
会 場： 豊栄地区公民館 大講堂  
参加者： 豊栄地区公民館運営審議会委員 東委員、石川委員、梅津委員、神田委員、  
日下委員（議長）、倉島委員、栗原委員、  
豊栄地区公民館 土田委員（副議長）、藤沢委員、マルシェフ委員  
北地区公民館 寺崎（館長）、立川（主任）、高村、佐藤、小池  
岩本（館長）、風間  
傍聴人： 0名

---

### 1 開会

### 2 館長あいさつ

### 3 自己紹介

### 4 議長・副議長選出

議長に日下委員、副議長に土田委員を選出

### 5 議 事

#### (1) 令和2年度事業報告、事業評価について

(事 務 局) 令和2年度 豊栄地区公民館事業報告・事業評価を報告

(日 下 議 長) それでは只今の説明について、皆様からご意見やご質問をいただきたいと思ひます。何かご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。昨年度は、今の説明にもありましたように、多くの事業でコロナの影響を受けて、大変な中でも代替事業を計画されたり、工夫を凝らされているなど思ひながら聞かせていただきました。その辺りについても、ご意見やご質問があれば、お聞かせいただきたいと思ひます。

(石 川 委 員) 学校などではコロナに対してガイドラインが出てきて、厳しく行っているのですが、公民館の事業などについても、ガイドラインなどがあって、人数制約とかあるのかどうかというのと、そういうので知見が集まってきて、参加者数をそこまで人数を減らさなくていいのではなどの意見が出てきているのかどうか。令和2年度を振り返ってみて教えてください。

(立 川 主 任) 公民館のガイドラインにつきましては、昨年度の10月に出された「ガイドライン」から現在まで変わっておりませんが、新型コロナウイルス感染症

が流行しだした当初は、様々な団体に活動の自粛をお願いして、活動を止めていた部分もございます。4月23日～5月17日まで臨時休館をいたしました。その後、ガイドラインも少しずつ見直しがあり、リスクの高い活動団体（カラオケ・合唱など、大きな声を発する活動団体）につきましては、感染症対策を施し、現在も各部屋の定員の50%での運用を続けております。感染リスクの少ない会議などについては、定員の100%という形で運用しております。あくまでも公民館の利用や講座などについては、感染症対策を施してガイドラインに基づいて現在運用している形になります。参考までに、新型コロナウイルス感染症の影響により、豊栄地区公民館での教室・講座の参加者は、平均すると年間で13,000人ほどいたのですが、昨年度は、自粛などで教室や講座を取りやめたものや参加者数を制限したのものもあり、参加者数が9,200人と約4,000人減っております。また、館全体としても、例年43,000人から47,000人の利用者がおられたのですが、昨年度は26,900人と、前年比で16,700人ほど減っております。こちらの新しい建物に移り、利用されている団体の皆様もガイドラインを理解しているので、今まで小さな部屋を使って定員いっぱい活動していた団体が、やはり感染リスクが高まるということで、現在の第1研修室、第2研修室の可動壁を取り払い、2部屋を1つにして、リスクを下げるような形で利用していただいたりしております。最近、ワクチン接種が進むことにより、先程館長からも説明があった通り、6月位から利用が少しずつ戻ってきているように感じています。

（日下議長）ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。

（マルシェフ委員）ゆりかご学級について思ったのですが、家庭で子どもと2人きりになりがちな時期に定員は少ないものの、こうして外に出て、同じくらいのお子さんがあるお母さん同士で集まる機会があってとても良かったと思います。これからもっとコロナが落ち着いて、大人数で集まれるようになればいいなと思っています。

（日下議長）マルシェフ委員ありがとうございました。事務局何か補足とかございますでしょうか。

（立川主任）ゆりかご学級については、昨年度「初めての子育て応援セミナー」という代替事業を行ったのですが、小さなお子さんも連れてくるので、保育も行いながら事業を実施した部分もございます。その保育部分についても、先程石川委員が言われたように、ガイドラインがあり、それに基づいて実施しております。今年度はすでにゆりかご学級はもう2期目に入っておりますので、より一層感染対策を努めながら進めているところです。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見などございますでしょうか。

(梅津委員) 公民館としては、このコロナ時期に色々な工夫をしながら企画・運営されてこられたと思いますが、参加者数を見ますと、これでOKと思っているのか、もうちょっと来てほしかったと思っているのか、その辺りをおたずねしたいなと思っています。それからもう一つ、参加者が固定的なのかどうか、結構同じ人ばかり来ているのかどうか、そこら辺を教えてください。

(立川主任) まず参加数ですが、もうちょっと来てほしかったというのが本音なのですが、なかなか人数制限をしないとリスクが高まるものですからやむを得ないと思っています。今年度については、後程説明しますが、本当にリスクの高い「民謡流し」などは、実行委員会を開催し、すでに中止になっているものもありますが、今は、できるだけリスクを避けながら事業をどうやったらできるかということを考えて取り組んでおります。事業の参加者は、同じ人ばかりかということについては、事業によって違います。ゆりかご学級などは、生まれた月で募集しますので、その都度違う人が参加されるような形になっていますし、ご近所だんぎなどは、地域の同じ方が毎月楽しみにして来られるような事業もございます。その他の事業も事業によっては同じ顔触れがあるかもしれませんが、また、新たな人が来られるような新しい事を取り入れながら進めていきたいと思っています。

(日下議長) 梅津委員、事務局ありがとうございます。他にご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。今まで出てきていない事業や、もう少し詳しく教えて欲しいなどのご意見でも構いません。

(土田副議長) 子育てサロンで、見守りスタッフが確保できなかったという面で、これからも中止という形になるのでしょうか。

(立川主任) 子育てサロン（スマイルひろば）につきましては、昨年度については、見守りスタッフ（ボランティア）の確保が難しいということで実施いたしませんでした。今年度については、旧館では、集会室という広い畳の部屋がありましたが、新公民館へ移転し、それに代わる和室が狭いことと、ボランティアの確保が難しいことから中止としております。もともと参加者自体が多くなかったということもございます。

(日下議長) ありがとうございます。皆様ご意見はございませんか。

(藤沢委員) コロナ禍の中で、大変な創意工夫をされながら事業展開されて、後半の方は、それなりの手ごたえもあったということを伺って、ご苦労があり大変だっただろうとお察しいたします。この間で、大きな出来事として移転という

ことがあったわけですが、それに伴って、今程も和室が集会室に比べ小さくなったという話でしたが、移転に伴う事業、あるいは参加者の反応の変化とか、計画とか、この後に今年度の事業計画の説明はあると思いますが、昨年度事業を踏まえて、全般的に影響がどのように出てきたのか、簡単で結構ですので教えていただけますでしょうか。お願いします。

(立川主任) 本当に移転は大きな出来事ということで、1月末に移転し、2月1日から新公民館での活動を行っておりますが、当初は公民館の場所がわかりにくいとの声を多くいただき苦労した部分もありました。移転に伴い一番影響を感じたことは、展示室（ギャラリー）がなくなったことです。豊栄地区の方は文化活動に熱心な方が多く、2月1日の移転前後より、旧館にはギャラリー（展示室）があったのに、移転したら展示事業はできないのかと多くの声をいただきまして、大講堂前の廊下の壁面、301、302会議室前の廊下の壁面を利用して作品展示できるよう、建物を所管する地域総務課と相談し、ライティングレールをつけさせていただきました。前方に映し出している画像は、5月に実施した求美会の展示の様子になります。そのほかに1階の市民交流スペースになりますが、こちらも地域総務課の管轄なのですが、画像は当館の企画展をやらせていただいたときの画像になります。北区展も先々週に行い、非常に多くの方に作品をご覧いただきました。本当に豊栄地区の方は、文化活動に熱心で自分の成果の発表の場を求め方が多くて、ここが一番大きく影響を受け、自分たちも考えさせられ、どうにか展示の場を作ることができたのかなというところでございます。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見等ありませんでしょうか。

それでは、運営審議会といたしましては、事業評価につきましては、コロナの影響下にあって、様々な工夫をされながら実施してきたこと。参加者にとっては、交流できる貴重な場になったのではないかとということで、事務局の説明のとおり事業を評価したいと思います。また、移転という大きなことについても、今お話を聞かせていただいたように、当初なかった違う反応があったりしたことについても対応され、様々な意見を吸い上げて、利用しやすい公民館になっていくといいなと願っております。続きまして北地区公民館の事業報告の方に移りたいと思います。北地区公民館よろしく願いいたします。

(事務局) 令和2年度 北地区公民館事業報告・事業評価を報告

(日下議長) 北地区公民館ありがとうございます。只今の説明について、ご意見・ご質問ございませんか。

(倉島委員) 私が住んでいる地域は松浜なもので、北地区公民館をよく利用させていただいています。先回と今回は、豊栄地区公民館はきれいでいいなと思いましたが、北地区も行くたびにエレベーターがきれいになり、テーブルや椅子もきれいになり、壁も張り替えてきれいにして、段々設備が整ってきているなと感じます。その中で、先程も豊栄地区公民館と比較してみている時に豊栄の方では、オンラインで講習が出来たりとか、ZOOMが出来たりしています。北地区はハード面でそれが出来ないのかなと思ひまして、それが出来るようになれば、この先オンラインで何か、中央の方の講師の方をお呼びしなくても出来るとか、大学の授業とか、小学校・中学校も今は、i p a dをもっているのを見たりすると、これもいいのかなと思って見ていたのですが、そういうものを活用するとか、オンラインで何かをする、打ち合わせも対面できれば一番いいのですが、学生さんと打ち合わせをするとなると、やはりコロナが大変であったり、行動制限がかかっていると云われちゃうと、ZOOMとかを利用して打ち合わせが出来れば、また少し違うものが出るのかなと思うのですが、その辺の整備を整えるということは、新潟市全体の話になるのかもしれないのですが、どのようにしているのかをお聞きしたいと思いました。

(風間主査) 例えばZOOMを利用するための機器的なものは全館にはないので、中央公民館の方でスケジュール管理し、ZOOMを利用するための機器を貸し出してくれるようなシステムがあります。北地区公民館は、今年でできてから40年になります。ハード面では、まずは光回線などの配線設備も必要になってきます。予算などお金もかかることもあるので、公民館全体の動向も見ながら使えるように検討していければと思っております。今現在すぐできるかということについては難しいというのが正直なところです。

(日下議長) ありがとうございます。それこそ、実現することによって、北地区在住の方でも豊栄地区在住の方でも同じようなサービスが受けられる点からも、是非実現していただければと思います。ありがとうございます。何かほかにご意見ございませんか。

(栗原委員) 今、北地区の方のお話を聞いて、素人のボランティアさんが非常に多いなあと思っています。私も以前サマーキャンプの方で参加させてもらったのですが、松浜、北地区公民館のボランティアさんが非常に大勢いるのですが、この事業というのは、来年もまた継続してやっていかないと意味のない事業もあるだろうし、また新たな事業もあるであろうし、そうなったらまたボランティアを募ってやるのか、豊栄の方もそういうボランティアを募っていくのかお聞きしたいと思います。

(風間主査) 一休さんなんかは、かなり古くから学生さんと地域の方が子どもたちのために公民館と一緒に一休さんの事業に関わって継続してやっているものです。キネマ松浜劇場などは、見ている参加者の方がスタッフに加わっていると説明させていただきましたが、それは北地区公民館の方で仕掛けた事業なのですが、高齢者の方がなかなか家から外に出る機会が少なく、そういう方を外へ出すためのきっかけづくりとして、気軽に昔の映画を、懐かしいという気持ちで観ることによって、公民館へ足を運んでもらう。その中でボランティアの方が映画を選定していたりとか、自分も一緒に関わりたいなあという方を毎回ボランティアになりませんかという声掛けを行っておりますし、運営しているボランティアの方の姿を見て、私もやりたいみたいなモチベーションを上げるきっかけづくりをし、毎月第3木曜日の午後1時半ということで時間を決めてやっています。開催当初の令和元年度は、7人ぐらいのボランティアさんでしたが、今は11名ということで、少しずつ増えてきています。ですから、前から長くボランティアさんがいる事業もありますし、うちの方でまた新たに社会参加というか、きっかけづくりでやっていただいている事業もあります。北地区公民館はそういった形で対応しているところです。

(立川主任) 豊栄につきましては、先程説明した中で「ご近所だんぎ」というものがあつたと思いますが、そちらの方は公民館を支援してくれる「あなたとあい隊」さんという8名位のグループの方で、本当に公民館スタッフと一緒にあって、今度はどんなことをやるというような相談をしながら進めているというのがあります。その他では、ただ連携した部分ではありますが、地域コミュニティ・コーディネーター養成講座では、防災を切り口にした講座なのですが、北区の防災士の方の協力を得たり、防災減災応援隊にいがたという東区の防災士団体にボランティアとして携わっていただき、洪水ハザードマップの見方とかを手伝っていただいたというものもございます。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見などありますでしょうか。

(梅津委員) 北地区公民館の有情のまちの中学生ガイド養成については、昨年度中止だったわけですが、すごくシニア対象ではなくて中学生を対象にしているいい事業と思っているのですが、今後の見通しはどうか。これからまだまだ続けていくのか教えていただきたいと思います。

(風間主査) 中学生ガイドの養成講座に関しては、令和2年度につきましては、今報告した通り、コロナがちょうど流行した時期で中止だったのですが、今年は松浜中学校の方も是非やりたいということで、今年度は事業が始まったところです。中学生が通常はテストとか、部活動とかいろいろと日程的にも学校行事もあって忙しいのですが、今年も募集をかけたら16から17名の応募があり、6月から9月までの9回にわたって、現地に出向いてのガイドの勉

強と実際のお客様に対するプレガイドの練習を計画しています。松浜の市場が開催される週末に合わせて、10月にガイドツアー本番を予定しています。

(梅津委員) ありがとうございます。すごく中学生を巻き込んで良い事業なので、公民館の中の事業に色々な年代層の事業を取り入れて、工夫をして続けて欲しいと思っております。それから椅子タイチですか、先程の説明だとサークル化に至らなかったという説明だったのですが、たくさんの方が参加なさっていて、サークル化になるとすごくいいんじゃないかなと思ったのですが、至らなかった理由ってどんなことでしょうか。

(風間主査) 椅子タイチは、イスに座りながら太極拳をするというものです。タイチは太極拳の意味なのですが、募集が20名だったのですが、25名と応募する方も多く、3回コースの講座でほぼ欠席する方もなく、事業を開催したところです。自分たちでサークルを運営しながら、先生をお呼びして活動するというのは、役員でリーダーが引っ張るとか、グループとして引っ張っていきけるような方が必要です。陶芸の講座ではうまくサークル化へとつなげることができたのですが、椅子タイチの講座では、取りまとめてくれる方が残念ながらいらっしやらなかったというのが一つの要因かと思いました。ただその中でも南浜の方から来られた会員さんは、是非南浜の公民館の方でもやりたいと言って、今後引き続きやりたいということで、講師の先生とやり取りはあったようです。

(梅津委員) 担当者としては、すごい働きかけはしていたのだけれども、というところですね。

(風間主査) 3回連続の講座の中で、色々やっってはいたのですが、残念ながら今回は出来なかったということです。

(梅津委員) やらされている事業ではなくて、公民館の活動の中でも本当に自分たちで自主的に活動していくようなことが増えていくといいなと思ったので聞かせていただきました。

(日下議長) 梅津委員、事務局ありがとうございます。私の方からも少し関連してお聞きしたいのですが、サークル化ということで、参加する人たちは恐らく全くそんなことを考えずに、面白そうだから聞きに行こう、やってみようと思参加すると思うんです。実は公民館側としては、サークル化というものを常に目標として持っている。会議に参加して私も初めて知ったのですが、今まさにそのための努力を人を見てなんて話を聞かせていただいたのですが、豊栄地区公民館も併せて、公民館事業の肝のところだと思いますので、サークル化させて自主的に活動していくという生涯学習にどう繋げていくの

か、詳しく教えていただきたいと思います。

(風間 主査) 例えばゆりかご学級などは、通常5回連続講座で、先程少し紹介しましたが、集まった参加者の方に文集作りで、記念誌みたいなものを作りませんかというのをきっかけづくりとしてやりますが、それは強制ではないのですが、じゃあみんなで作ろうかと、ゆりかご学級などは、何回か作っているうちに色々な工程を経て、ある程度期間、準備段階があって、仲間の人達とのコミュニケーション、情報交換をしながら作業しますので、そういった意味で集まるうちに仲間意識がだんだん膨れていって、サークル化につながることも多いです。公民館としては、サークル化し是非その後も公民館を使っていたきたい、サークル活動してもらいたいという思いで、講座を連続で開催したりもしています。いわゆる3回受ければ次回も下期に3回コースがあるのではないかと、ただ体験講座的なものを受けて終わってしまうみたいな感覚で参加してしまう方もおられるのです。サークル活動というと、運営もしていかななくてはなりません。そうすると負担感も感じる方もいるので、そこを何とかうまく1年毎に役員が変わるとか、みんなで協力して、その後のサークル活動に繋げていきませんかとか、そういった感じで色々な話をしながら、サークル活動の運営のノウハウのアドバイスもうまくいく場合もあるし、うまくいかない場合もある。100%ではないので難しさはあります。椅子タイチなどは結構年配の方も多くて、そういった方はいなくて、結構控えめの方が多くて取りまとめてくれる方がいなくなったのが現状です。

(立川 主任) 豊栄地区公民館ですが、北地区公民館と同じで、今日の午前中はゆりかご学級の方が集まってサークル化に向けて動き出しているとか、当然サークル化を視野に入れて、教室などを開催しております。昨年度で言えばはじめての子育てセミナーの参加者、アクティブシニアのおとなの絵本の楽しみ方の参加者、コラージュによる絵画クラスなど、昨年度だけで4つくらいのグループがサークル化して活動していただいております。

(日下 議長) 詳しい説明ありがとうございました。今まで気づかなかったサークル化に向けた色々な働きかけの部分が知れて大変ありがたかったと思います。その他ご意見ございませんでしょうか。

(神田 委員) 全体的なことなのですが、豊栄地区の公民館で、たくさんのサークル化とか北地区の方もそうなのですが、様々な団体の方のサークル化をするにあたって、先程も少しお話に出たのですが、ギャラリーというものを今後も何とかしようという考えはあるのかどうか。1階の展示、フリースペースでしょうか、そちらの方で展示するという形とか、廊下で展示してあったりしたわけですが、作品とかサークルによっても様々なギャラリーの展示をどうするのかと思うのですが、ギャラリーという形でスペースを設けることは



難しいかどうかをお聞きしたいと思います。

(立川主任) 当然新しいところに来てギャラリースペース(旧館のような展示室)がないというふうなことは言われています。今言われた廊下を利用したスペースについては、通年で希望があれば1週間程度の展示はできます。説明会を開いたりしているのですが、エレベーターの前のホワイエの部分についても、机2つ分くらいの展示はできます。例えば陶芸作品の展示なども可能というふうな形になっています。1階の市民交流スペースについては、所管が地域総務課になりますが、役所的に言うと、一般の人があのスペースで展示させてくださいという行政財産使用許可を受けなければいけない。しかし、公民館の事業として月1回1週間程度貸していただけるということで、5月から第2火曜日から翌月曜日までという形で公民館の事業としてお願いしてあります。前半(4月～9月)は応募がありませんでした。今後半分(10月～3月)を募集しておりますが、恐らく11月と12月に展示の希望があるのではとっております。ただ、1階の市民交流スペースは、不特定多数の人が来られますので、誰かひとりついてくださいと条件はあるのですが、そういうような形で公民館の事業として市民交流スペースをお借りして展示することは可能になりました。

(日下議長) ありがとうございます。ではほかにご意見がないようでしたら、事業報告について意見をまとめたいと思います。いただいた意見をまとめまして、まずは北地区のハード面のことについて、もし実現すれば更に事業が拡大、進展していくのではないかと。できたら実現して欲しいという意見が出たことと、ボランティアスタッフについての意見をいただきました。それぞれ講座の性格などによって、色々な立場のボランティアの方がいて計画されていたり、また、集めて来られたりと話をいただくことができ、さらに多くの人を巻き込んで、実施していけるといいのかなと思います。広い年代を対象にして色々な事業を続けていくことに対しても、益々続けて欲しいという意見が出ました。サークル化について、少し詳しく聞かせていただいて色々な仕掛けをしながらサークル化に向けて働きかけをされている公民館の方の努力、工夫がわかって、益々色々な視点から見てサークル化につながるような動きが活発になればいいなと考えております。今のことを意見とさせていただきます。続きまして、令和3年度の事業計画について、新潟市公民館事業基本方針、豊栄地区公民館、北地区公民館と続けて説明をお願いします。

## (2) 令和3年度事業計画について

(事務局) 令和3年度 新潟市公民館事業の基本方針、豊栄地区公民館、北地区公民館事業計画を説明

(日下議長) ありがとうございます。只今の説明に対してご意見・ご質問がございませんでしょうか。特に今年度の事業計画については、特にないということでしょうか。委員の皆様ほかにご意見などはございますでしょうか。

(栗原委員) コロナではワクチン接種のうんぬんかんぬんと言っていますが、2回受けてもうつる可能性がありますので、2回受けたからOKというわけでもない。そんなことを考えると、月毎に事業を何かしらやっていますよね、今までやってきたやり方で、コロナの感染者が北区は80人しか出ていない。これはすごいことだなと思います。その辺を考えて、どこまでは出来て、どこまでは出来ないとちゃんとやってらっしゃるので、唯々感服しました。すごいなと思います。それともう1点、個別なことですが、私が講座などに参加してもいいのでしょうか。

(立川主任) 講座には、是非ご参加ください。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見がありますでしょうか。

(東委員) 6月に新潟経営大学の中島先生の講演を聞かせていただいた時に印象に残ったのが、「公民館は第2の学校」という話をされたと思うんですね。中島先生は常に公民館に行って、近い存在であったからずっと公民館に関わってきた話をされたと思うのですが、今小学生は放課後児童クラブへ行き、公民館にはそんなに関わっていないのではないかと思います。中学生は、先程話があったように松浜中の生徒は公民館に関わっているのですが、他の学校はどうか、継続的に公民館に関わっていくにはどうしていけばいいのかなど。中島先生の話聞いてずっと考えていたのですが、なかなか今、色んなところで、色々なことをやっている中で、中島先生のようにずっと公民館に継続的に関わるのは難しいのかなと思いつつ、少しでも小学生、中学生が公民館活動に参加することによって、今後大人になったときに、色々な活動への参加につながっていくのではないかなと考えていました。何かしら広げていくといいますか、小学生、中学生が関われる活動を今後考えているとか、こんな風にしていこうというものがあれば、お聞かせいただきたいと思います。また、活動を新たにつくるよりも今やっている活動とリンクした方が早いと思うので、その辺りも考え等があったらお聞かせ願いたいと思います。

(立川主任) 非常に難しい課題だと思うのですが、先程も説明もいたしました、新館に移転し、中学生の学習コーナーの利用が増えたことは、非常に良いことだと思っております。中学生、高校生が学習コーナーを使っているときに学習コーナーがちょっと暗いものですから、暗くないかと声掛けしてみたり、貸出用のライトがあるよと言ってみたい、話をしてみたりしています。小学

生については、子ども土曜公民館とか、サタディキッズとか、そういうものに参加いただいたりしています。子ども土曜公民館の茶道教室には、実は中学生が4～5人参加していたりします。そういう子どもたちの意見も聞きながらどういう風に関われるか考えていかななくてはいけないと思いますし、それとまずは公民館に来ていただかなければ事は始まらないので、まずは中学生が試験勉強で公民館へ来たのは本当にびっくりしましたので、まずは公民館に来てもらってそこから始めたいと思います。パートナーシップ事業とか、地域教育コーディネーターの方々とも相談しながら、どのような形で連携・リンクできるか、委員の皆様からも是非教えていただきながら取り組んでまいりたいと思います。

(日下議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(梅津委員) 必要課題と要求課題とバランスよく事業を組み立てていて、すごいなと期待しているところです。今、子どもたちはGIGAスクール等で、デジタルになれた子どもたちになっていくわけなのですが、やはり人が生きていく上で大事なことというのは、人と人との関わりで、そういうことを考えると、親の子育ての仕方が重要だと思います。ひきこもりの人達がとても増加しておりまして、大きな社会問題になっています。子どもたちを見ていると、本当に自己肯定感が低い。「俺なんていなくていいんだ」、「俺なんかどうせ役に立たない」みたいな子どもが多い。学校では子どもたちに何とか自己肯定感を育みたいと思って努力しているわけですが、お家にいるとやはり一人の人間として尊重されない子どもも結構いる。そこら辺の問題を見ていくと、睡眠などがすごく大きくかかわってきているので、公民館の事業として睡眠も取り上げていращやいましたけれども、本当は親世代の人達にももっともっと色々知ってほしいなということがあります。学校にいるとなかなかそれが保護者に届かない。お便りを出しても見ない人もいます。そんな感じなのですが、親世代の人達は共働きの方も多し、忙しい。でもそんな中で、やはりちょっと工夫して、子どもたちの心を育てるために何とか社会教育・生涯学習で働きかけて欲しいなと思います。社会教育に期待をしています。

(立川主任) 貴重なご意見で、私も子どものスポーツの指導などもしておりますが、現在のスポーツ関係などをみましても、学校体育よりもクラブチームとかへ移行している部分もあります。それを含めて学校と一緒にしながら、何かできることはないか、子どもの心を育てる講演会でもそうですし、親を対象にした何かでもいいですし、そんなことができるといいなと思っているのですが、実現には難しいものがあるので、今後そういうものを研究しながら、公民館活動としてそういうものが出来るかどうか、相談しながらやっていきたいと思っています。ありがとうございます。

(日下議長) ありがとうございます。その他ご意見ございませんでしょうか。

(栗原委員) 今の梅津委員の話なんですけど、私山登りをするんですけど、山登りをするとすれ違うたびに必ずあいさつがある。それを今の子どもたちに、誰にでもすれ違うときにあいさつをするくらいの気持ちになってほしい。現状はあいさつ運動ののぼり旗は立っているけど、あいさつをしていいかどうか疑問の顔をしている方もいらっしゃる。地域と関わるのであれば、大人から声をかけて、ちょっとでも悪いと不審者の扱いをされる。そういう面で悩ましい面もあるが、私は声を掛けるようにはしている。そこで目が届いて悪いこともできないだろうし、レクリエーション的なことであいさつが出来ていけばいいのかなあと思いますし、残念ながら子どもと一緒にご飯食べているのに、どちらもスマホをいじって会話がなし。全く残念なので、何かヒント得たものがあって、やっと親の世代がしゃべらなきゃ子がしゃべるわけないと思います。やはり大人の方から視線を下げてどンドン声を掛けてやらないといけないと思う。先程説明があったが、公民館職員が学習コーナーを利用している子どもがいた時に、時々声を掛けているというのは良いことだと思うし、基本中の基本かなあと思う。

(日下議長) ありがとうございます。今の一連の直接かかわらないとおっしゃっていたお話が、実は皆さん首を振っていたというのは、なかなか公民館に足を運ぶのに一番難しい世代の親に対して、何か働きかけが出来るといいのではないかなあというのが今のやり取りではなかったと思います。では、事務局方から連絡事項がありましたらお願いします。

(事務局) 次回の第2回の運営審議会につきましては、12月頃を予定しております。また9月頃になりましたら日程を調整したいと思っておりますのでよろしくをお願いします。また、今日の議事録につきましては、私の方で作成しまして、皆さんへお送りしますので、ご確認いただきたいと思います。

(日下議長) ありがとうございます。以上で本日予定されていた議題の審議が全て終了いたしました。進行を事務局にお返しいたします。